

第 1 回次世代へ光り輝く「教育立県ちば」を推進する懇話会の開催について

千葉県教育委員会は、第 3 期千葉県教育振興基本計画の策定に向けて、今後の千葉県教育のあり方や基本的な方針等について、大学教授等の有識者・専門家から意見を聴取するため、「次世代へ光り輝く『教育立県ちば』を推進する懇話会」を設置しました。

この第 1 回の会議を平成 30 年 7 月 31 日（火）午後 4 時から、知事も出席して開催しました。

会議では、座長に貞廣齋子氏、副座長に中山理氏に御就任いただいた後、各委員から千葉県の教育のあり方や取組の方向性等について、幅広く御意見をいただきました。

1 日 時

平成 30 年 7 月 31 日（火）午後 4 時から午後 6 時まで

2 場 所

TKP ガーデンシティ千葉 4 階 コンチェルト A

3 内 容

- (1) 挨拶（知事、教育長）
- (2) 千葉県の教育の現状について
- (3) 意見交換

4 出席委員

大田紀子委員、貞廣齋子座長、銭谷眞美委員、中山理副座長
（天笠茂委員は所要のため欠席）

5 委員の主な意見

- 「教育立県ちば」として、国の教育政策に先駆け、都道府県をリードする特色ある教育政策を打ち出し、具体化を図るとともに、我が国の教育に責任ある役割を果たし、位置を占める、教育県を目指してほしい。
- 学校統廃合への対応など、教育力の地域間格差を解消するため、県が積極的に市町村をリードしてほしい。
- 郷土について学ぶ「ふるさと千葉の学び」を、千葉県教育の重点にしてほしい。
- いじめ不登校防止と特別支援教育は教育の原点であり、一層の充実に取り組んでほしい。
- アメリカやイギリスでは、倫理研究や人格教育に学術的に取り組み成果をあげている。日本も道徳・倫理教育に積極的に取り組むべきである。
- 就学前教育の充実を図るとともに、人生 100 年時代に向けたリカレント教育が重要である。
- 予想もしなかった事態に直面しても、子供たちが解決策を他者と一緒に練り上げたり、新たな価値を創造したりするためには、学校教育の中で、子供たちにレジリエンス（打たれ強さ）を育てることが大事である。